

ゆり組さんがバケツ苗を育ててお米を収穫したよ！



香芝市農業委員会の農業の普及活動及び担い手の育成事業の一環として、7月上旬に水稻バケツ苗を保育所に提供していただきました。

真美ヶ丘保育所では、ゆり組さんが責任をもって苗を育て、いつも食べているお米が出来るまでの過程を体験学びました。

鳥に狙われることもなく無事に育った稲は、自分たちで収穫し、先日、脱穀作業も体験しました！

また、後日精米作業も必要であり、食べるまでの過程に驚き、苦戦している姿も見られました。この体験を通し、米作りに興味を持ち、お米が出来る喜びや作る大変さ、お米の大切さにも気づき、農家の方々への感謝の気持ちをもってもらいたいと思っています。

自分たちで育てたお米を食べられる日を楽しみにしている子どもたちです。



稲からお米を落とします



ハサミで
チョコキンと収穫



すり鉢と軟式野球ボール
でグリグリグリと
協力してもみをとります

ちからづよく
やらないと
なかなかとれないね



ぼくにまかせて！



おこめがいっぱい
ついていてうれしいね！



パタパタとうちわで
扇ぎもみを飛ばします

かるいもみだけ
とんでいくんだね！

したからあおぐと
いいね！



「自分たちが育てたお米だけじゃみんな
で食べられないね」と心配していた子ども
達。香芝市農業委員会の方々が生徒も
育てたもみ殻付きのお米を分けていただけ
ることになり、後日、みんなで食べられる
量の玄米を精米体験する予定です。

また、その様子もお知らせしますね☆